

NEWS RELEASE



2018年8月28日
株式会社丹青社
株式会社ミライロ

丹青社とミライロがユニバーサルデザインの 空間づくりに向けた協業を開始

障害のある当事者視点を取り入れたコンサルティングから企画・デザイン・施工まで
ワンストップでホテル・宿泊施設のユニバーサルデザイン化をサポート

商業・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：高橋貴志、以下丹青社）と、障害（バリア）を価値に変える「バリアバリュー」の視点からユニバーサルデザイン（以下UD）のコンサルティングをおこなう株式会社ミライロ（本社：大阪府大阪市／代表取締役社長：垣内俊哉、以下ミライロ）は、UDの空間づくりに向け業務提携することに合意し、協業を開始しました。

本協業により、丹青社がもつ空間づくりの企画力、デザイン力、技術力と、ミライロがもつ障害のある当事者の視点や知見を掛け合わせ、誰もが快適に利用できる空間づくりの実現を目指します。

両社はまず、ホテル・宿泊施設のバリアフリールームについての調査・研究等を共同で進め、客室等のUD化に向けて、コンサルティングからプランニング・デザイン・施工まで、ワンストップで提供いたします。また将来的には、本協業を商業施設や文化施設、駅・空港等の交通拠点、観光関連施設など、他の分野に展開してまいります。

■ 協業の背景

近年、高齢化の進展や障害者差別解消法の制定等を背景に、交通施設、公共施設、宿泊施設等を中心としてUD化への要請が急速に高まっています。

特にホテル等の宿泊施設においては、バリアフリー法等関係法令の改正、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催、外国人観光客の増加等の事情もあり、新装・改装が増える中でUD化に対応していくことが重要な課題になっています。

2017年に国土交通省が全国606の宿泊施設に向けて実施した調査（※）では、「屋外の通路・建物の主要なエントランス（出入口）からフロント・ロビーまで、車いす使用者が支障なく到達できるルート（経路）」については「ある」との回答が約77%、「車いす使用者が利用可能なレストラン・食堂」が「ある」との回答が約79%である一方、『「バリアフリールーム」・「ユニバーサルルーム」等のUDルーム』は「ない」との回答が半数以上、「高齢者、障害者等の利用しやすい客室」についても「ない」という回答が約83%にのぼっています。

※出典：「ホテル・旅館のバリアフリー化の現状等に関するアンケート調査」（国土交通省）（<http://www.mlit.go.jp/common/001223223.pdf>）

<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社丹青社 広報室 担当：山岡、栗尾 Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp
株式会社ミライロ 東京支社 広報部 担当：岸田 Tel：03-6712-6312 Mail：press@mirairo.co.jp

丹青社は「空間創造のプロフェッショナル」として、商業施設や文化施設などさまざまな分野で、事業者の課題解決をサポートし、こころを動かす空間づくりをおこなっています。2005年以來、ダイバーシティをテーマにした交流イベント「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」を共催するなど、多様性理解の取り組みを続けるとともに、本業である空間づくりにおいてもUDを実践してまいりました。

ミライロは2010年より施設設計・改修時の監修および調査サービスを開始し、障害のある当事者の視点で、さまざまな施設について問題発見・課題把握をおこない、UD化のコンサルティングを提供してきました。

UDが事業者にとっての経営課題、社会課題になっている現状を踏まえ、両社はソリューションを一層強化し互いに強みを活かし合えるパートナーとして、UDに関する課題解決に向けて協業することにいたしました。

■ 丹青社 取締役 小林 統 (こばやしおさむ) コメント

当社はグループ全体としてUDの推進を掲げ、空間づくりの事業におけるUDを重要なテーマと位置づけて実践してまいりました。また、「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」や「ユニバーサルキャンプ TOKYO」、全役員・社員を対象にした「ダイバーシティ研修」などの取り組みを通じて、会社を挙げて多様性理解のマインドを醸成しております。今回のミライロとの協業により、UDの一層のレベルアップを図り、事業者様、そして多様なエンドユーザーの方の「こころを動かす」空間を提供してまいります。



■ ミライロ 代表取締役社長 垣内 俊哉 (かきうちとしや) コメント

当社は「障害を価値に変える」バリアバリューの視点から、UDの監修をおこなっております。国内の障害者は約936万人、高齢者は約3515万人、これにベビーカー利用者も含めれば、全人口の3人に1人が、移動や施設の利用に不便を感じていることとなります。これからのUDには多様な方にとって安心・快適であることはもちろん、事業者にとって集客や利益につながるといった視点も重要です。丹青社とのコラボレーションを通じて、日本のみならず世界から注目されるUDの先進事例を実現したいと考えます。



<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社丹青社 広報室 担当：山岡、栗尾 Tel：03-6455-8115 Mail：pr-staff@tanseisha.co.jp
株式会社ミライロ 東京支社 広報部 担当：岸田 Tel：03-6712-6312 Mail：press@mirairo.co.jp

■ 丹青社について

「ここを動かす空間創造のプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな空間づくりの課題解決をおこなっている企業です。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社
所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F 〒108-8220 (本社)
設立 : 1959年12月25日
資本金 : 40億2,675万657円 (2017年1月31日現在)
上場 : 東京証券取引所市場第一部 (証券コード : 9743)
URL : <https://www.tanseisha.co.jp>

■ ミライロについて

バリア (障害) を価値に変える「バリアバリュー」をコンセプトにUDのコンサルティングファームとして創業した企業です。社長を含め、社員にも多くの障害者、LGBT等がおり、当事者の視点を活かして、設備や製品に関するUDの企画・設計・クリエイティブ制作や、手話・文字リレーサービス及び手話通訳派遣サービスの提供、企業・行政・教育機関における教育及び研修等をおこなっています。2018年、「Japan Venture Awards 2018」で最高位賞「経済産業大臣賞」を受賞。

社名 : 株式会社ミライロ
所在地 : 大阪府大阪市淀川区西中島 3-8-15 新大阪松島ビル 8F 〒532-0011 (本社)
東京都渋谷区東 3-9-19 VORT 恵比寿 maxim 11F 〒150-0011 (東京支社)
設立 : 2010年6月2日 (創業 : 2009年5月28日)
URL : <http://www.mirairo.co.jp>

<リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社丹青社 広報室 担当 : 山岡、栗尾 Tel : 03-6455-8115 Mail : pr-staff@tanseisha.co.jp
株式会社ミライロ 東京支社 広報部 担当 : 岸田 Tel : 03-6712-6312 Mail : press@mirairo.co.jp